

第二次長野市環境基本計画後期計画 平成29年度 指標・目標値の設定

基本目標	コード	指標名	担当課等	計画目標値(H33)	目標値(H29)	平成29年度目標値設定理由	
①循環型社会の実現	11	ごみの総排出量	↓	生活環境課	124,724 t	127,683 t	長野市一般廃棄物処理基本計画の目標値(H33)に達するよう、平成28年度の実績値から設定した。
	12	市民の一人一日当たりのごみ排出量	↓	生活環境課	411 g /人・日	425 g /人・日	長野市一般廃棄物処理基本計画の目標値(H33)に達するよう、平成28年度の推計値から設定した。
	13	事業系可燃ごみの年間排出量	↓	生活環境課	39,757 t	40,036 t	長野市一般廃棄物処理基本計画の目標値(H33)に達するよう、平成28年度の推計値から設定した。
	14	マイバック持参率	↑	環境政策課 生活環境課	80.0%	68.4%	これまでの平均増加率を参考にし、目標値を設定した。
②良好な生活環境の保全	21	大気環境基準達成項目数	→	環境政策課	15項目	15項目	大気常時監視局で監視している19項目のうち、光化学オキシダントを除く15項目を指標とする。
	22	市内中小河川13河川のBOD平均値	↓	環境政策課	2.0mg/ℓ以下	2.0mg/ℓ以下	「生活環境の保全に関する環境基準」のA類型の基準値(BOD:2.0mg/L)を指標とする。
	23	地区環境美化活動のごみ回収量	↓	環境政策課	21,500kg	24,800 kg	平成27年度の実績値から平成33年度の目標値に向かって、段階的な設定を行った。
	24	ポイ捨て吸い殻本数 (月平均本数:長野大通り10箇所)	↓	環境政策課	70本	70本	計画目標値を目標値とする。
③豊かな自然環境の保全	31	豊かな自然環境が保たれている	↑	環境政策課	現状値以上	73.6%	アンケート指標(市民が思う割合)の目標値を目標値とする。
	32	間伐面積(累積面積)	↑	森林整備課	9,500ha	7,438ha	搬出間伐を主体に推進する。現状の搬出間伐90haに60haの増加分と切捨350haを見込んだ。
	33	森林体験参加者数(年間人数)	↑	森林整備課	2,150人	2,150人	市内小学校の森林体験は、天候により実施が左右されるため計画目標値とする。
	34	エコファーマーの認定者数	↑	農業政策課	1,089人	1,049人	平成33年度目標値に基づく。
④豊かで快適な環境の創造	41	市民一人当たりの都市公園面積	↑	公園緑地課	9.19㎡	7.63㎡	目標値は、区画整理事業による平成29年度の新設予定面積を平成28年度面積に加算し、算出した値を設定した。
	42	市内中小河川9河川の水質階級	↓	環境政策課	11点	11点	水生生物調査地点9地点の水質階級を目標値に近づけるため
	43	景観や街並みが美しい地域である	↑	都市政策課	62.2%以上	58.20%	均等割り
⑤低炭素社会の実現	51	温室効果ガス年間排出量	↓	環境政策課	1,878,400 t-CO2	1,975,500 t-CO2	計画目標値を均等割り
	52	市民一人一日当たりの温室効果ガス排出量	↓	環境政策課	14.08 kg-CO2	14.39 kg-CO2	計画目標値を均等割り
	53	太陽光発電設備規模(累計)	↑	環境政策課	160,000kW	120,000kW	約10,000kW/年を見込む (長野市地球温暖化対策地域推進計画)
	54	木質バイオマス燃料需要量の推計値 (灯油換算(ℓ))	↑	環境政策課	330,000ℓ	230,000ℓ	計画目標値を均等割り
	55	再生可能エネルギーによる電力自給率 (発電設備容量)	↑	環境政策課	60.0%	46.0%	計画目標値を均等割り
⑥行政・市民・事業者・事業者・事業者の連携強化と推進	61	環境保全活動参加者数	↑	環境政策課	4,700人	4,300人	平成28年度の実績値(4,112人)から平成33年度の目標値(4,700人)に向かって、段階的な設定を行った。
	62	環境学習会年間参加者数	↑	環境政策課 家庭・地域学びの課	5,200人	5,200人	環境学習会(水生生物、動植物、星など)自然環境(リサイクル、エコ活動、環境保全など)に関する学習会